

製品名: Bag-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07434**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	BAG1
別名	BAG1; HAP; BAG family molecular chaperone regulator 1; BAG-1; Bcl-2-associated athanogene 1
遺伝子 ID	573.0
SwissProt ID	Q99933
免疫原	抗血清はヒト BAG1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

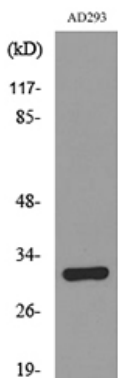
がん遺伝子 BCL2 は、アポトーシス（プログラム細胞死）に至る経路の 1 段階を阻害する膜タンパク質です。この遺伝子によってコー

ドされるタンパク質は BCL2 に結合し、BCL2 関連アタノゲンと呼ばれます。BCL2 の抗アポトーシス作用を増強し、増殖因子受容体と抗アポトーシス機構を結びつける役割を果たします。この mRNA は、非 AUG (CUG) 開始コドンと、下流に 3 つの AUG 開始コドンを用いることで、複数のタンパク質アイソフォームをコードしています。関連する擬似遺伝子が X 染色体上に定義されている。[RefSeq 提供、2010 年 2 月];疾患:胚発生中に眼裂が形成されない、指が水かき状になる、外耳道、肛門、膈、消化管、または喉頭が閉鎖するなどの特徴を持つ常染色体劣性疾患であるクリプトフタルモス症候群 (フレーザー症候群) に関連している可能性がある。これらの発生過程はすべて細胞死を必要とする。機能:基質放出を促進することにより、HSP70/HSC70 のシャペロン活性を阻害する。PPP1R15A のアポトーシス促進機能を阻害し、抗アポトーシス活性を有する。様々な刺激によって誘導される BCL2 の抗細胞死機能を著しく増強する。PTM:ユビキチン化; SIAH1 または SIAH2 によって媒介され、その後プロテアソームによる分解につながる。類似性: 1 つの BAG ドメインを含む。類似性: 1 つのユビキチン様ドメインを含む。細胞内局在: アイソフォーム 2 は細胞質に局在し、熱ショックに反応して核内へ移動する。サブユニット: HSP70/HSC シャペロンの ATPase ドメインに結合します。BCL2 および NR3C1 に結合します。STK19 の N 末端領域と相互作用します。PPP1R15A と相互作用します。アイソフォーム 2 は HSP70/HSC または BCL2 と相互作用しません。

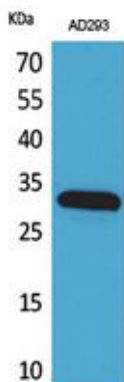
研究分野

細胞生物学

画像データ



BAG1 抗体を使用した AD293 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Bag-1 ポリクローナル抗体を用いた AD293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。